

-千里ライフサイエンス新適塾-

「難病への挑戦」第67回会合

「人生を締めくくる病気としてのがん、若年者のがん」

講 師 幸谷 愛 (こうたに あい)

大阪大学微生物病研究所 感染腫瘍制御分野 教授

日 時 2026年9月1日(火) 18:00~20:15

場 所 千里ライフサイエンスセンタービル

講演会: 5階 サイエンスホール (WEB 配信併用) ~19:15

懇談会: 6階 千里ルーム B ~20:15

参 加 費 講演会、懇談会とも無料

定 員 会場参加80名、WEB参加200名

参加は事前申込みされた方(申込締切り8月27日)のみとし、定員になり次第締切ります。参加希望者は、当財団のホームページの「参加申込・受付フォーム」からお申込み下さい。<https://www.senri-life.or.jp/event/5654/>

* オンデマンド配信は予定しておりません。

コーディネーター

菊池 章 (大阪大学 感染症総合教育研究拠点 特任教授)

河原 行郎 (大阪大学大学院医学系研究科 ゲノム生物学講座 神経遺伝子学 教授)

主催: 公益財団法人 千里ライフサイエンス振興財団

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1丁目4番2号

千里ライフサイエンスセンタービル13階

E-mail: otk-2023@senri-life.or.jp Tel: 06-6873-2006

<https://www.senri-life.or.jp>



参加申込

講演後には、リラックスした雰囲気の中で講師や参加者と直接意見交換できる懇談会を開催いたします。ここでしか得られない情報やネットワーク構築の貴重な機会として、ぜひ会場参加をご検討ください。

【要旨】

「人生を締めくくる病気としてのがん、若年者のがん」

大阪大学微生物病研究所 感染腫瘍制御分野 教授
幸谷 愛

がん細胞は己の細胞なのに、己の制御が叶わなくなる。ある意味わがまま息子、自由奔放娘のような存在であろうか。高齢者に発生する癌細胞はリプログラミングにより生物学的には若返った細胞であるのだから、わがまま息子、自由奔放娘とも捉えられないわけではない。

そんなふうに考えると高齢者に発症するわがまま息子、自由奔放娘は進行が緩徐であり、残された人生の時間が数年単位で認識できるという点において、やりたいことを後悔なくやり尽くすことを可能とする疾患かもしれない。

個人的には自分の研究対象でもあるがんで人生を締めくくりたいと願う。

一方若年者の癌はどうだろうか？若年者のがんが比較的多い血液内科領域で臨床にも携わってきた身には、本人の無念に加え、残されたご家族がその後も深い悲しみと共に生きていく姿に、なんとも言えない思いを覚えた。なんとかしたいとは思いつつも、何にもできないまま漫然と研究活動を行なってきたが、2015 年、当時の私と同じ歳 45 歳の女性患者、2020 年当時の私の子供と同じ歳 16 歳の男性患者と出会ったことをきっかけに、彼らの病気に対する治療薬開発が、志を共にする仲間の協力を得て進んでいる。日本からの製薬開発という点においては国益にも重要であると自負している。

上記現在進行形の研究開発の経緯、臨床治験に結実した経緯などお伝えできればと願っている。

【略歴】

- 1996 年 京都大学医学部医学科卒業
- 2003 年 京都大学医学研究科博士課程内科学博士課程修了
医学博士（京都大学）取得
- 2003 年 京都大学医学研究科学術振興会特別研究員（PD）
- 2006 年 Whitehead Institute for Biomedical Research
学術振興会特別研究員（PD）／出産育児復帰支援特別研究員（RPD）
- 2008 年 東京大学医科学研究所先端医療研究センター/血液腫瘍内科 助教
- 2011 年 東海大学創造科学研究機構医学部門 テニユアトラック准教授
- 2012 年 さきがけ研究者（～2016 年）
- 2013 年 東海大学医学部再生医療科学 准教授
- 2014 年 東海大学総合医学研究所造血腫瘍分野／東海大学医学部血液腫瘍内科学 准教授
- 2015 年 AMED-PRIME 研究者（～2019）
- 2016 年 東海大学総合医学研究所造血腫瘍分野／東海大学医学部血液腫瘍内科学 教授
- 2019 年 東海大学総合医学研究所造血腫瘍分野／東海大学医学部先端医療科学 教授
- 2023 年 大阪大学微生物病研究所遺伝子生物分野 招聘教授
- 2024 年 大阪大学微生物病研究所感染腫瘍制御分野 教授/東海大学医学部客員教授

学会活動、受賞歴など

日本血液学会代議員、日本免疫学会評議員、日本生化学会代議員

Frontier in immunology Editor, Scientific Reports Editor

2008 年 Keystone Symposia NCI Award、

2011 年 International Foundation of Myeloma Sugi Memorial Award

2018 年日本ソロプチミスト協会小田原クラブ賞

2022 年日本癌学会女性科学者賞

2025 年日本免疫学会女性免疫科学者賞